



～ 緑ヶ丘中学校の全国学力・学習状況調査結果 ～

本年4月18日(火)に3年生を対象に実施された「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。この調査は、生徒の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。本校では、実施後速やかに採点し、1学期の指導に活かしてきました。

この度、文部科学省から調査結果が送付されましたので、再度全教員で結果を分析しました。今後、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取り組みをさらに充実していきます。このたよりでは、実施した教科(国語・数学)の結果からみえる本校の状況や課題、改善方法などをお伝えします。

◎ 生徒の学力について(教科に関する調査結果から)

【国語】

緑ヶ丘中学校3年生の「国語」の平均正答率は、「全国と比べて下回っている」という結果でした。

国語では、短歌の情景を読み取る問題の正答率が全国を上回ったものの、短歌の技法の理解について課題がありました。また、「資料を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように話すことができる力」や「話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結びつけて自分の考えをまとめることができる力」を問う問題に課題が見られます。文脈に即した言葉の意味や意図をくみ取る等の力が十分に育っていないことが課題であり、丁寧な読解を心がけるよう2学期以降意識して取り組んでいきます。また、自分の意見をまとめ、伝える力を育むためにも、日頃から授業において、言語活動を多く取り入れていく取組をすすめていきます。

【数学】

緑ヶ丘中学校3年生の「数学」の平均正答率は、「全国と比べて下回っている」という結果でした。

数学では、グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる問題において全国平均を上回りました。一方で、「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する力」や、「総合的・発展的に考え成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができる力」を問う問題に課題が見られました。また、他の分野においても説明をする問題は苦手とする傾向があり、今後文章を使

って論理的に説明する力をつけていけるよう取り組みます。日頃から、授業でのグループやペアでの対話的な学び合いを大切にしていきます。

どちらの教科においても、無回答率は低く、最後まであきらめずに問題を解こうとする意欲や、答えを導き出そうとする意欲は高いことは強みです。また、共通の課題は「情報の本質を読み取り説明する力」であるととらえています。「読む力」の向上に向けて、毎朝行っている「朝の読書」の取組の充実や、生徒会委員会活動等を通して、読書活動を推進していきます。

今後も、本校では、細かな分析・検討を行い、課題を明らかにしながら、授業研究等をはじめとして日々の学習活動を通じて学力向上につとめていきます。

◎ 生徒の生活や学習状況について（生徒質問紙の結果から）

生徒質問紙は、生徒の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。生活のさまざまな側面や豊かな心の育成に関わること、学習環境や授業等の教育活動などへの問いがあります。以下に、本校の結果と特徴をまとめました。

【豊かな人間性（人権教育・キャリア教育）に関すること】

本校の生徒は、全国の結果と比べてほとんど同じ、もしくは上回っています。その中でも、特にいじめはいけないことだと多くの人が認識しています。それらの結果から、将来の夢や目標に対して失敗を恐れず、自分に自信を持ち、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。

質問項目	本校	比較（1%以上）	全国
自分には、よいところがあると思う	84.8	>	83.3
将来の夢や目標を持っている	66.2		66.3
人が困っているときは、進んで助けている	88.5	<	90.1
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	99.3	>	95.7
人の役に立つ人間になりたいと思う	95.7		95.2
友達関係に満足していますか。	93.6	>	90.1
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはありますか。	89.9		89.8

数値は、各質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合（%）

【家庭生活（生活習慣）に関すること】

全国の結果と比べて、基本的な生活リズムは定着していますが、朝食を食べていない生徒が多いです。

質問項目	本校	比較（1%以上）	全国
朝食を毎日食べている	84.9	<	91.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	84.2	>	80.7
毎日、同じくらいの時刻に起きている	94.3	>	92.5

数値は、各質問に「している」「どちらかといえばしている」と回答した割合（%）

【学習習慣（家庭学習や自主学習）に関すること】

携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴を 1 日 3 時間以上していると答えた生徒は 4 割を超え、全国を大きく上回っています。また一方で、家庭での学習時間は全国と比べるとかなり少ないです。特に、土日の学習時間には大きな差があります。

質 問 項 目	本校	比較（1%以上）	全国
PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、わからないことがあった時に、すぐに調べることができる。	97.1	>	93.9
普段、1 日どれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームする時間は除く）3 時間以上	40.3	>>	32.5
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たり 1 時間以上、勉強している（塾などを含む）	59.1	<<	64.3
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1 日当たり 1 時間以上、勉強している（塾などを含む）	23.8	<<	36.2

☆ご家庭へのお願い

- ・ 携帯電話やスマートフォン等の通信端末の利用については、家族でルールをつくり、長時間の利用を避けるなど、具体的に取り組んでください。
- ・ 学力の向上には、学習意欲の向上と学習の習慣化が必要です。また、学習の習慣化には「家庭での学習時間」が大きく影響します。ご家庭でのご支援・ご協力をお願いします。